

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公表番号】特表2012-513024(P2012-513024A)

【公表日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2011-541640(P2011-541640)

【国際特許分類】

G 0 1 R 31/34 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 31/34 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年6月13日(2014.6.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

当該方法は、同期信号を受信して、受信した電圧データおよび電流データを通電波形(energising waveform)と同期させることを有してもよい。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

当該システムは、同期モジュールを有してもよく、該同期モジュールは、受信した電圧データおよび電流データを通電波形(energising waveform)と同期させるものである。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

【図1】図1は、例示的な実施形態によるシステムの図式的なレベルブロック図を示す。

【図2】図2は、例示的な実施形態による方法のフロー図を示す。

【図3】図3は、時間領域(time domain)内の低周波パターンの一例を、グラフで表示した図である。

【図4】図4は、低周波高調波(harmonic)信号の一例を、グラフで表示した図である。

【図5】図5は、高周波スペクトル解析パターンの一例を、グラフで表示した図である。

【図6】図6は、通電半波波形(energizing half waveforms)に対する、時間領域の高周波パターンの一例を、グラフで表示した図である。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 7 】

プロセッサ 2 4 はさらに、通電半波波形(energizing half waveform)に対する高周波パターンの識別を用いて、少なくとも、発電機における故障を特定するように構成されていてもよい。従って、プロセッサ 2 4 は、これを行うために、位相分解したパターンを利用してもよい。プロセッサ 2 4 は、これを達成するために、同期モジュール 1 5 の出力を必要とする。通電半波波形に対する典型的な高周波パターンのイラストを図 6 に示している。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 2 】

当該システム 1 0 によって取得される各時間領域の電流ブラシの波形は、下記のようにプロセッサ 2 4 によって処理されて、暫定的な散布プロットが作成される。この波形中に表示されるミリ秒の最初の数値は、抽出された一つの通電波形のサイクルの継続期間に対応する。このデータは、散布プロット上で利用可能であるよりも高い水平解像度を有する。そのため、時間領域の波形上のいくつかの点が、散布プロットの単一の「時間スライス」で表される。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 8 3 】

電圧信号および電流信号を受信したら、方法 3 0 は、ブロック 3 6 において、プロセッサ 2 4 により、上述したようにして、受信した電圧信号および電流信号から、モニタリングしている発電機に関する電圧データおよび電流データを決定することを有する。従って、方法 3 0 はまた、このデータを同期モジュール 1 5 の出力に対して照合することを有する。これは、同期信号を受信して、受信した電圧データおよび電流データを通電波形と同期させることを有してもよい。